

172

1976年10月

東京歯科大学 同窓会会報

目次

お知らせ	2
同窓会評議員会・総会案内	3～4
本部短信	4
逝去会員	5
同窓会渉外部委員会設置	6
学術講演会案内	6
TDC 卒後研修セミナー(第2年次)プログラム	7
母校だより	8

お知らせ

○ 東京歯科大学同窓会学術講演会

と き 昭和51年11月20日(土) 午後6時～9時
ところ 東京歯科大学第4教室
演 題 歯科医療問題の背景と今後の課題
講 師 正木 正先生

○ 昭和51年度東京歯科大学同窓会評議員会・総会・懇親会

と き 昭和51年11月21日(日) 午前9時～午後8時
ところ 白金迎賓館(港区白金台5-21-9, (03) 444-1236, 国電山手線目黒駅下車徒歩5分)
●詳細は本号3～4頁をご覧ください。

○ TDC卒後研修セミナー(第2年次)

と き 第1回	昭和52年1月22日(土)	第6回	昭和52年6月25日(土)
第2回	昭和52年2月12日(土)	第7回	昭和52年7月15日(金)
第3回	昭和52年3月26日(土)		16日(土)
第4回	昭和52年4月16日(土)	第8回	昭和52年8月27日(土)
第5回	昭和52年5月21日(土)	第9回	昭和52年9月10日(土)

ところ 経団連会館ホール(東京・大手町)
●プログラムは本号7頁をご覧ください。

○ 第200回東京歯科大学学会例会

と き 昭和52年2月19日(土) 午前9時～午後5時
ところ 東京歯科大学

○ 昭和52年度東京歯科大学入学試験

第1次試験	昭和52年2月1日(火), 2日(水)	於	進学課程(市川)
	一次発表: 2月6日(日) 午後4時	於	専門課程(水道橋)
第2次試験	昭和52年2月8日(火), 9日(水)	於	専門課程(水道橋)
合格者発表	昭和52年2月11日(金) 午後1時	於	専門課程(水道橋)

●入学試験要項ならびに大学要覧, 願書一式は母校専門課程教務課まで2,000円(送料を含む)を添えてお申し込み下さい。

○ 昭和52年度東京歯科大学歯科衛生士学校入学試験

試験期日	昭和52年2月25日(金), 26日(土)	於	東京歯科大学(水道橋)
合格者発表	昭和52年2月28日(月) 午後3時		

●入学試験要項ならびに願書一式は母校歯科衛生士学校教員室まで500円(送料を含む)を添えてお申し込み下さい。

昭和51年度東京歯科大学同窓会

評議員会・総会開催通知

同窓会懇親会には、松宮先生、学長ご就任
祝賀会も併せて行います。

本年度の同窓会総会、評議員会、懇親会及びデ
ンタルショーは11月21日(日)午前9時より白金
迎賓館において終日開催することになりました。
同窓各位には奮って参加されるようお願いしま
す。なお、全国地域支部連合会会長連絡会は総会
前日の11月20日(土)午後3時より母校会議室で行
われます。

総会、評議員会の次第、議事は次のようになっ
ております。

1. 全国地域支部連合会会長連絡会
11月20日(土) 15:00
1. 評議員会 11月21日(日) 9:00~14:00
1. 鹿島、井上後援会 // 14:15~15:15
1. 総会 // 15:30~17:30
1. 顕彰式 // 15:30~17:30
- 懇親会(会費 8,000円) // 18:00~20:00
—松宮新学長を囲んで—
1. デンタルショー(長田電機グループ)展示・
即売会

同窓会懇親会のお申し込み

会場準備の都合もありますので、ご出席のお申し込み
は、会費8,000円を添え現金書留にて11月15日までに至
急本部事務局あてお送り下さい。

なお、止むをえない場合は会場にてもお申し込みをお
受けいたしますが、当日は受付事務の混雑が予想されま
すので何とぞよろしくご協力をお願い申し上げます。

東京歯科大学同窓会評議員会

昭和51年11月21日(日)午前9時~午後2時

1. 開会の辞
1. 点呼
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長・副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報告

1. 昭和51年度 会務報告
2. 昭和51年度 共済部報告
1. 議 事
 - 第1号議案 昭和50年度 東京歯科大学同窓会
経常部収支決算
 - 第2号議案 昭和50年度 東京歯科大学同窓会
特別会計収支決算
 - 第3号議案 東京歯科大学同窓会財産目録の承認
(監事報告)
 - 第4号議案 昭和52年度 東京歯科大学同窓会事業
計画に関する件
 - 第5号議案 昭和52年度 東京歯科大学同窓会会費
徴収に関する件
 - 第6号議案 昭和52年度 東京歯科大学同窓会経常
部収支予算
 - 第7号議案 昭和52年度 共済負担金に関する件
 - 第8号議案 東京歯科大学同窓会特別会計収支予算
 - 第9号議案 東京歯科大学同窓会共済部規定一部改
正に関する件
 - 第10号議案 名誉会員推薦の件
 - 第11号議案 昭和51年度叙勲者、受章者顕彰の件
1. 閉会の辞

第82回東京歯科大学同窓会定時総会

昭和51年11月21日(日)午後3時30分~午後5時30分

1. 開会の辞
1. 会長挨拶
1. 来賓挨拶
1. 議長・副議長選出
1. 議事録署名人選出
1. 報 告
 1. 昭和51年度 会務報告
 2. 昭和51年度 評議員会報告
 3. 昭和51年度 東京歯科大学同窓会経常部並びに
特別会計収支予算
1. 議 事
 - 第1号議案 昭和50年度 東京歯科大学同窓会
経常部収支決算
 - 第2号議案 昭和50年度 東京歯科大学同窓会
特別会計収支決算
 - 第3号議案 東京歯科大学同窓会財産目録の承認
(監事報告)
1. 昭和51年度 叙勲者、受章者顕彰式
1. 閉会の辞

本部短信

1. 行事・役員出張・その他

- 7月24日 東北地域支部連合総会 井上会長，中野理事出張
- 7月24日 広島県支部総会 安嶋理事出張
- 7月27日 卒後研修特別委員会（企画）
- 7月28日 卒後研修特別委員会（合同）
- 7月31日 進学準備セミナー開講式（Aクラス）
- 8月3日 常任理事と卒後研修特別委員会委員との懇談会
- 8月7日 進学準備セミナー（Bクラス）
- 8月7日 進学準備セミナー（Bクラス）
- 8月9日 進学準備セミナー激励パーティ
- 8月15日 進学準備セミナー閉講式（Aクラス）
- 8月16日 卒後研修特別委員会（企画）
- 8月21日 出張理事会（茨城県）
- 8月22日 同上
- 8月28日 第10回卒後研修セミナー
- 9月8日 共済部委員会
- 9月9日 卒後研修特別委員会（合同）
- 9月10日 会報171号発送
- 9月11日 秋田県支部総会 山本副会長，佐藤理事出張
- 9月11日 第11回卒後研修セミナー
- 9月13日 東歯関係日歯役員・代議員懇談会
- 9月14日 四谷支部総会 安嶋理事出張
- 9月14日 卒後研修特別委員会（庶務）
- 9月18日 関東地域支部連合会総会 井上会長，海老原，杉山理事出張

- 9月18日 愛媛県支部総会 山本副会長出張
- 9月21日 理事会
- 9月22日 学術委員会（進学準備セミナー関係）
- 9月25日 東海地域支部連合総会
- 9月27日 学術委員会（進学準備セミナー関係）

2. 罹災会員

- 栃木県支部
 - 昭41卒 中條佐智子 一部罹災（4月19日）
- 静岡県支部
 - 昭22卒 沢田善太郎 床上浸水（7月11日）
- 岡山県支部
 - 昭16卒 中西 伯男 床上浸水（9月11日）
- 岡山県支部
 - 推薦 藤原 寿 床上浸水（9月11日）
- 岐阜県支部
 - 昭7卒 早野 信夫 床下浸水（9月11日）
 - 昭10卒 森 毅 床下浸水（6月11日）
 - 昭10卒 高木 重雄 住宅床下浸水（9月11日）
 - 昭44卒 中島 勝利 地下室浸水（9月11日）
 - 昭19.9卒 河合 年朗 技工室床上浸水（9月11日）
 - 昭47卒 原田 明成 床下浸水（9月11日）
- 香川県支部
 - 昭22卒 炭山 修 床上浸水（9月11日）
 - 大10卒 樋出 誠道 床下浸水（9月11日）
 - 昭16.12卒 橋本 慶博 床下浸水（9月11日）
- 横浜西部支部
 - 昭33卒 佐々木正矩 床上浸水（9月11日）

同窓会評議員会・総会・懇親会会場ご案内



お詫び

会報171号5頁に下記の誤植がありましたので、深くお詫び申し上げます、謹んで訂正させていただきます。

左1行目 5月21→5月22

左13行目 医王院永保善滋○居士

→医王院永保善滋清居士

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し
心からご冥福をお祈り申し上げます

●大 3 卒 山形県支部	横山 八次 83才 〒993 長井市小出1328	脳 卒 中	51. 7.20
●昭 2 卒 大分県支部	山口 繁 77才 〒871-02 大分県下毛郡山国町宇曾	乳 癌 胃 潰 瘍	51. 6.30
●昭 13 卒 新潟県支部	永井 正孝 63才 〒643-01 高田市稲田町 2	糖 尿 病	51. 8. 5
●大 7 卒 埼玉県支部	渡辺 正 85才 〒330 大宮市日新町 2—1607	下 腹 部 腫 瘍	51. 8.13
●昭 10 卒 千葉県支部	平野 実 64才 〒292-05 千葉県君津郡君津町広岡1697	左内頸動脈閉塞症	51. 8. 5
●昭 11 卒 杉並支部	岩淵 正夫 61才 〒167 杉並区西荻南 2—26—13	肺 癌	51. 8.11
●医 卒 石川県支部	野村 貞蔵 85才 〒920 金沢市彦三町 2—3—11	結 腸 癌	51. 8.23
●推 薦 宮城県支部	三宅 重吉 71才 〒989 仙台市錦町 2—4—1	腎 不 全	51. 8.31
●大 14 卒 佐賀県支部	藤本 勘一 74才 〒843 武雄市西浦町	食 道 癌	51. 8. 6
●大 8 卒 滋賀県支部	井上 明道 80才 〒520 大津市坂本町 2 区	心 臓 麻 痺	51. 9. 9
●推 薦 岡山県支部	辻 正子郎 92才 〒700 岡山市中山下 2—5—48	老 衰	51. 9. 2
●昭 7 卒 青森県支部	猪股 信郎 69才 〒038-13 南津軽郡浪岡町大字浪岡字細田		51. 9.25
●昭20. 9 卒 静岡県支部	手島 崇 52才 〒431-04 静岡県浜名郡湖西町鷺津		51. 9.26
●大 7 卒 福島県支部	原 剛吉 81才 〒964 福島県二本松市本町 2—139	心 不 全	51. 9.25
●昭 6 卒 日本橋支部	島田 宗武 70才 〒188 保谷市ひばりが丘 4—6—15	直 腸 癌	51. 9.27
●推 薦 静岡県支部	貴志 徹 85才 〒430 浜松市海老塚町315	心 不 全	51. 9.17
●大 9 卒 千葉県支部	西尾 武仁太郎 78才 〒276 八千代市八千代台北 8—7—30		51.10. 3
●医 校 卒 青森県支部	福士 嘉次郎 〒038-27 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町舞戸字上富田	心 不 全	
●大 14 卒 愛媛県支部	明星 新作 75才 〒792 新居浜市泉宮町 1—14		51.10. 3
●大 3 卒 京都府支部	堀内 清 86才 〒606 京都市左京区下鴨東岸本町 6		51.10. 3

(届出順)

東歯同窓会渉外部委員会設置決る

渉 外 部

近時歯科医療問題に対する国民の批判は著しく、これを速かに解決するよう諸施策がとられることが望まれております。この為、歯科医政の強化拡充により、強力、適確な政治力の発動が歯科界に期待されております。

東歯同窓会渉外部には、かつて「東京歯科大学同窓会医政部要項」、「医政に対する本会の態度」、又その後は、「東京歯科大学同窓会医政懇談会」、「東歯医政会内規」等の医政に関する規約、機関があって、その時期なりの医政関係事項の指標とされてきました。

昭和50年10月医政懇談会は、その意図されるところは理解されたながら、諸情勢により解散されました。

昭和50年11月同窓会評議員会で、それ等に代る渉外部委員会設立の要望があり、同窓会長はこれに対し、同委員会設立の用意のあること及びその骨子の一部について応答しました。

同窓会は7月、8月開催の理事会において、委員会のあり方を検討し、下記のように決定致しました。

時代の変遷は、国民の動向により、医療関係諸行政に

大幅な変革をもたらしつつあります。今こそ、整備された機構のなかで、同窓会員の意向を尊重しつつ、国民の要望にも応えられる、現実に対応した処理がとられるべきであると思います。

以上が同窓会渉外部委員会設置の理由であります。

東京歯科大学同窓会渉外部委員会内規

第1条 本委員会は、東京歯科大学同窓会渉外部委員会と称する。

第2条 本委員会は、同窓会の目的達成のために必要な渉外部事項につき会長の諮問に応え、協力するものとする。

第3条 本委員会は同窓会長の委嘱による委員若干名をもって構成する。任期は任命した会長の任期とする。

第4条 本委員は必要に応じて会長が招集する。

附 則 本内規は昭和51年8月21日制定し、同日より施行する。

同窓会学術講演会のご案内

歯科医療問題はますます混迷の度を深めてまいりました。この夏に計画いたしました講演会は、講師の正木 正先生がご快癒なされましたので、下記のとおり開催いたします。同窓各位には多数お誘いあわせのうえご参加下さいますようお願いしております。

演 題： 歯科医療問題の背景と今後の課題

講 師： 正 木 正 先生

と き： 昭和51年11月20日（土）午後6時～9時（同窓会総会の前夜）

と ころ： 東京歯科大学第4教室（水道橋）

TDC 卒後研修セミナー

— 第2年次のご案内 —

〔主題〕 総合的な視点にたった歯科診療

— 口腔機能の維持と回復 —

- 会 場** 経団連会館14階経団連ホール
 (千代田区大手町1-9-4, (03) 279-1411, 地下鉄丸の内線・千代田線・東西線
 大手町駅, 国電東京駅下車)
- 受講料** 全期分 120,000 円 (昼食費を含む)
 (3回分割納入も可, 昭和51年11月, 昭和52年3月, 6月)
- 申込期限** 昭和51年11月30日
- 申込先** 東京歯科大学同窓会卒後研修特別委員会宛
 なお, 詳細は色刷同封のご案内をご覧ください。

II 症例を中心としたペリオドンタルな考え方を活かした修復の実際

- 第1回 [昭和52年1月22日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1. オリエンテーション | 羽 賀 通 夫 (特別委員会副委員長) |
| 2. 歯周組織の回復能力 | 秋 吉 正 豊 (医 歯 大・難 疾 研) |
| 3. 歯周疾患の咬合治療 | 池 田 克 己 (城西歯大・保 存) |
| 4. スプリンティングと局所療法 | 片 山 恒 夫 (大阪府・開 業) |
- 第2回 [昭和52年2月12日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|-------------------------------|--|
| 1. 歯周組織とマージン —隣接面のフレアー形成について— | 石 川 達 也 (東 歯 大・保 存) |
| 2. テンボラリークラウンの意義と活用 | 福 本 忍 (東 京 都・開 業) |
| 3. 症例を中心とした修復の実際 | 羽 賀 通 夫 (東 歯 大・補 綴)
佐 藤 徹 一 郎 (東 歯 大・保 存) |
- 第3回 [昭和52年3月26日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|------------------|--------------------------------------|
| 1. エンドとペリオと咬合 | 長 谷 川 正 康 (東 歯 大・稲 毛 歯 科) |
| 2. 症例を中心とした修復の実際 | 藍 末 田 稔 武 (医 歯 大・補 綴)
(医 歯 大・保 存) |
- 第4回 [昭和52年4月16日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|------------------|--------------------------------|
| 1. 経年的な結果にみる咬合調整 | 木 村 吉 太 郎 (東 歯 大・保 存) |
| 2. 症例を中心とした修復の実際 | 草 原 耕 三 (新 潟 大・歯・補 綴)
(保 存) |
- 第5回 [昭和52年5月21日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|--------------------------|----------------------------------|
| 1. 歯牙負担と混合負担の判定と設計の方針(1) | 関 根 弘 (東 歯 大・補 綴) |
| “ (2) | 松 江 一 郎 (日 大 松 戸 歯・保 存) |
| 2. 症例を中心とした修復の実際 | 石 川 一 洋 (北 海 道 大・歯・補 綴)
(保 存) |
- 第6回 [昭和52年6月25日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|------------------|--|
| 1. 経年的見通しとプランニング | 藤 原 康 功 (静 岡 県・開 業)
丸 腰 森 賢 (神 奈 川 県・開 業) |
| 2. 症例を中心とした修復の実際 | 原 正 好 (東 歯 大・補 綴)
藤 原 正 孝 (東 歯 大・保 存) |
- 第7回 [昭和52年7月15日(金), 7月16日(土)]
 ペリオドンタルな考え方にもとづく修復の実際 M. M. Ash, Jr. (ミシガン大歯学部)
 —とくに症例を中心として—
- 第8回 [昭和52年8月27日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 永久歯の咬合にたいする乳歯治療の問題点 | 町 田 幸 雄 (東 歯 大・小 児 歯) |
| 2. 天然歯と人工歯との咬合の組み合わせが問題となる症例 | 尾 花 甚 一 (鶴 見 大・歯・補 綴) |
| 3. 症例を中心とした修復の実際 | 金子 一 芳 他 (東 京 都・開 業) |
- 第9回 [昭和52年9月10日(土)] 9:30~17:00
- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1. 少数歯残存症例のプランニング—混合負担と粘膜負担— | 関 根 弘 (東 歯 大・補 綴) |
| 2. 症例を中心とした修復の実際 | 山 下 敦 昭 (大 歯 大・保 存) |
| 3. 第2年次のまとめと第3年次の展望 | 特別委員会副委員長 |

東京歯科大学卒後研修特別委員会

○昭和51年度入学定員 160 名本学に対し認定
される

歯学部の入学生定員については、かねてから関係方面で協議されていたが、教員数と施設の規模にくらべ、かけ離れた定員水増では十分な教育指導ができないので、全国的に各歯科大学・歯学部の学生定員の検討が行われ、それぞれの規模に応じた定員数が認定された。このような目的で、本学に対しても文部省視学官が派遣され、本年1月12日に、総山孝雄（医科歯科大学教授）、加藤勤爾（日本歯科大学教授）両視学官が来校され、水道橋専門課程、市川進学課程、市川病院などをくまなく視察された。その結果、本学の施設および教員の陣容は160名定員として十分な内容を有することを認定され、2月28日付で文部省から通達をうけた。なお160名定員は私立歯科大学として最大の定員数であり、140名、120名、定員の大学・歯学部は、それぞれ認定数の通知をうけている。なお、この認定は各年度毎に行なわれる予定であって、今後定員の2倍あるいは2倍近くもの入学者を収容する大学は根絶されることになった。

○第59回歯科医師国家試験新方式で実施される

歯科医師国家試験のあり方について、昭和48年以来、医療関係者審議会歯科医師部会、あるいは歯科医師国家試験委員の間で種々意見がかわされたが、翌49年11月1日の医療関係者審議会歯科医師部会において、具体的検討を行うよう提案があり、これをうけて学識経験者による成案が得られ、この結果をさらに改善して厚生省医務局から50年5月15日その内容が公表された。

その改善点を列記すると、筆記試験については、これまでの主観式から客観式多枝選択形式にかわり、受験生の持つ知識に対し、客観性、信頼性、および妥当性の高い解答が得られるように配慮し、あわせて今後の受験生の増大に対処することとした。昭和49年度において2,318名が受験しているが昭和55年度には推定3,600名に

達する見込である。

また、試験科目については、これまでの保存、補綴、口腔外科、矯正、口腔衛生学の5科目に小児歯科、歯科放射線学の2科目を加え、歯学の進歩向上に即応する態勢がとられた。その結果、従来15問に過ぎなかった出題数が180問に増加し、受験生の広汎な知識がテストされ、かつ採点者の主観判定および判定基準の変動が防止されるようになった。

さらに今回の試験からは、口腔外科の口頭試験が廃止されることになったが、保存、補綴の実地試験はこれまで通り実施された。

昭和51年度第59回歯科医師国家試験は、さる3月28日筆記試験、本学では4月5日、6日実地試験が行なわれ、本学学生は100パーセント合格の成績を取め得たが、全国平均は96.2パーセント合格であった。

○昭和51年度大学院歯学研究科合格者発表

本年度の大学院入試は2月19日（木）学科試験、20日（金）身体検査が行われ、2月25日水に合格者が発表された。入学式は4月19日（月）に第一演習室で行われた。合格者民名、専攻科目は次のごとくである。

解 剖	戸村 善明	口外Ⅱ	山崎 安仁
組 織	濱上 弘晴	〃	成瀬 健
微 生 物	太田 功生	補綴Ⅱ	畑中 政利
理 工	河田 英司	〃	松原 秀憲
〃	御任 克彦	〃	菊地 香
保 存Ⅱ	和田 大海	補綴Ⅲ	佐久間重雄
〃	八百枝正樹	矯 正	新井 康廣
〃	大串 勉	〃	瀬畑 悦子
保 存Ⅲ	寺本 信三	小児歯科	古沢 博行
〃	渋谷 俊之	〃	淵野 智弘
口外Ⅰ	松田 康男	〃	田中丸治宣
口外Ⅱ	高野 伸夫	麻 酔	小川 克昌

（東京歯科大学広報第51号より、以下次号）

昭和51年10月25日 印刷

編集・発行人 中 久 喜 喬

昭和51年10月30日 発行

東京歯科大学同窓会

東京歯科大学 同窓会会報 第172号

〒101 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 262-3421 (内線 226)

(03) 264-4859 (直通)

印 刷 所 一 世 印 刷 株 式 会 社

東京都新宿区下落合2-4-12

電話 (03) 952-5651 (代)